

イクメン・カジダンの養成【宇部市】

総事業費	1,200 千円
交付金額	600 千円

地域の実情と課題

- 女性就業率は年々増加傾向にあり、またM字カーブも緩やかになってきたことなどから、就労状況については一定の改善が見られる。
- 市民・事業者アンケート調査では、「男性優位の組織運営」等が女性の社会参画を阻害する要因として上位に挙げられ、また、女性管理職(係長相当職)の割合も20.9%にとどまるなど、女性の社会参画が進んでいるとは言えない状況にある。

目的・目標

- 市内事業者の大多数を占める中小企業等をターゲットに、さまざまな支援を行い、女性のための就業環境整備を加速させていく。
- 女性の社会参画を社会全体でバックアップするため、男性側の意識改革を主目的とした啓発事業等を実施する。
- 女性活躍推進企業の認証数(R12目標…400社)
R3実績…189社→R4実績…202社(3月末現在)

事業の特徴

- 新型コロナウイルス感染症対策を考慮し、啓発事業等を実施する際には、積極的にオンラインの活用を取り入れ、実施後もダイジェスト版動画の配信を行うこととし、取組内容の周知拡大に努めた。
- 「家庭生活応援セミナー」では、専門的なノウハウを持つ民間事業者へ事業実施を委託するため、公募型プロポーザル方式によるプレゼンテーション審査を実施し、選定を行った。

連携団体

○うべ女性活躍応援ネットワーク

企業等<安全重機(株)>、<株>エイム、セントラル硝子<株>宇部工場、<株>ダスキン山口、<NPO>山口ヒメ俱樂部、<株>ワイドシステム>、経済団体<宇部商工会議所>、宇部商工会議所女性会、宇部商工会議所青年部、<一社>宇部青年会議所、山口県南中小企業経営者協会>、金融機関<株>西京銀行宇部支店、西中国信用金庫宇部支店、<株>山口銀行宇部支店>、大学<宇部フロンティア大学>、<国大>山口大学工学部>、行政<宇部公共職業安定所>、オブザーバー<株>日本政策金融公庫下関支店>

事業の効果

- 啓発事業等における参加者アンケートでは、いずれも参加者満足度が高い結果となった。
- 「家庭生活応援セミナー」では、従来にない男性による「介護」をテーマに取り上げ、新たなターゲット層の獲得につながった。

今後の課題

- 女性活躍をさらに進めていくためには、固定的な性別役割分担意識(ジェンダーバイアス)の解消に向け、特に、男性による家庭生活(家事・育児等)への参画を促進していく必要がある。
- 女性における若い人材の流出防止や地元定着を図るため、「うべ女性活躍応援ネットワーク」の機能をさらに充実させるとともに、市内の中小事業者に対し、ニーズに即した効果的な支援策を打ち出していく必要がある。

事業の概要

○育児・家事・介護に関する男性向けの啓発事業として、「家庭生活応援セミナー」を開催した。
(3日間 計4回 参加延数140名)



【育児編】

「育休は冒険だ。夫婦で備える男性育休」
「実践！ パパの育休シミュレーション」
参加…43名(会場9, オンライン34)

【家事編】

「まだ元気な親と介護・延命・葬儀・相続について話すには」
「介護を乗り切るための男性の家事力向上術」
参加…31名(会場6, オンライン25)

【介護編】

「息子が親を介護するとき考える『親の老いへの向き合い方』」
参加…66名(会場30, オンライン36)